

(会議の経過) 土万・菅野小学校区 第2回 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>※学校規模適正化推進に係る基本的な考え方について説明</p> <p>※認定こども園制度・認定こども園の機能について説明</p>
委員	<p>実施目標年度について、第1回委員会では平成27年以降の説明だったが、今の説明では平成26年度と捉えられるがそのように受け止めていいのか。</p>
事務局	<p>小学校区ごとの懇談会では平成27年度4月実施目標という説明をしてきたが、子どもの人数が減り、現在の出生数から土万小学校は平成26年度に完全複式学級の学校となる。教育委員会として適正な子どもの集団を確保し、より良い教育をしていくために学校規模適正化を推進しており、本日、改めて平成26年4月の提案をさせていただいた。</p>
委員	<p>実施場所について、中学校に近い小学校の校舎を使うとなると菅野小学校になる。この案でいくと土万地区に小学校がなくなるということになる。あくまで案と捉えていいのか、決定か。</p>
事務局	<p>これは教育委員会からの提案である。</p>
委員	<p>何年後かに菅野小学校が山崎小学校に吸収されることも考えられるのか。教育委員会では人数が少なくなっていくたび合併を繰り返すということは考えていないのか。</p>
事務局	<p>今の考え方では菅野と土万で提案している。第1回の会議の中で山崎に吸収されることが有りか無しなのかという話も出たが、それも含めてこの委員会の中で議論になるのであれば、それも議論の結果になると思う。</p>
委員	<p>土万小学校がなくなるという前提で話をした。最近、村の寄り合いで地域の活性化を考えたりする。小学校がなくなることは、活力がなくなるという話をよく聞く。市は地域の活性化はどの様に考えているのか。適正化と活性化は別で考えているのか。菅野地区は過去に中学校の統合があり、経験も知識もあると思う。村としては学校が無くなるということに抵抗がある。</p>
事務局	<p>どこの地域も学校が無くなることは寂しいと思う。波賀、千種でも出ている話だが、跡地をどうしていくか、子どもが増える方向に考えるなど、たくさん意見がある。企業を呼ぶのも難しい話である。人が減っても学校が無くなったとしても、どうにかして活性化できたらと考えている。まちづくり協議会もあり、山崎、千種などそれぞれの地域の特色を出しながら考えていかなければいけない。学校が無くなった場合も一緒に考えていただきたい。</p>
委員	<p>学校規模適正化と活性化は別に考えていかないと仕方ないかと思う。地域の方から学校が無くなれば活性化に繋がらないと聞くと、学校があれば活性化に繋がると思ってしまう。学校規模適正化だけを市が行ってくれたら、学校は別に適正化しないでいいのではないかと思う。学校を残した上で人数を適正化する考えはないのか。</p>
事務局	<p>教育委員会が考えているのは、小さなものを大きくし、教育環境を整えたいというものである。おっしゃるような大きな学校から小さな学校に子どもを通わせるようなことが可能であれば、学校を無くす必要はないと思う。千種町鷹巣の千種東小学校が無くなり利活用をどうするか議論する中で学校が果たしてきた役割を見直してみようとなり、義務教育ではなくても子ども達が集う仕組みを地域の方と考えてきた。地域の方は自分達が学校にどの様に関わってき</p>

委員	たか考える機会になる。地域から学校が無くなると過疎化に拍車がかかるという話しをよく聞くが、地域の方のご理解ご協力があり、行政と一緒に協力することで、何とかできるのではないと思う。教育委員会としては子ども達の集団規模を確保したい。大きな学校から小さな学校に子どもを通わせる案を否定はしないし可能ではあるかもしれないが、率直に難しいと思う。
事務局	幼保一元化で、土万幼稚園と菅野幼稚園と保育園が、どのように一体化するかが見えてこない。
委員	幼稚園区＝小学校区であり、小学校区と同じ範囲の中で幼稚園がそれぞれあり、幼稚園、小学校区での子どもの数が非常に少なくなっていることで、枠組みとして中学校区で考えていき、土万と菅野を1つのくくりで考えていこうとしている。その地域の中にのみ保育園もある。就学前の幼稚園年齢（4・5歳児）になると集団教育が必要になってくるので、その環境を作りあげていきたい。その枠組みの中には土万幼稚園、菅野幼稚園と民間保育園と3つの施設で枠組みができないか、この地域の委員会の中で検討していただきたい。
事務局	菅野幼稚園と土万幼稚園が一緒になるのは理解できるが、いろんな地域の方が利用しているのみ保育園に土万、菅野と合併させるのか。
事務局	幼稚園の機能は家庭でできない集団教育を行うものであるが、働く保護者が増えてきたことから保育所にも4、5歳児の子どもが通っている。地域の中で子どもの人数が減少し、幼稚園と保育園が別々では一定の集団規模が確保できないことから、幼稚園と保育園を1つの施設にすることで4・5歳児が共存し教育・保育が受けられる状況が幼保一元化であり認定こども園である。保育所は保護者の就労状況により地域外に預けられる方もいる。地域の子どもの数が少なくなり保育に欠けない子どもが地域の中で教育・保育を受ける環境が必要ではないかと考えている。それが義務教育に繋がっていくことになる。
事務局	土万幼稚園と菅野幼稚園を合併させても人数は少ないと思っている。半分強の子どもが保育園に通っている。この子ども達が地域で一緒になれば1つの大きな規模になることから菅野と土万に合併していただきたい。通勤、就労の関係で違う地域の子どもの数が預けられるが、これは保育所機能なので認めなければならない。基本的に地域の子どもの数が就労の有無に関係なく地域で預けられるのが認定こども園である。
委員	のみ保育園に混ぜてもらう形になるのか。
委員	全てが保育園という考えでいいのか。
事務局	保育園ではなく幼稚園機能と保育園機能が1つになったものである。
委員	地区ごとに大きな認定こども園ができたとしても、就労形態によっては土万の子を山崎に預けることもできるか。
事務局	保育所としての機能であり可能である。保育所の機能まで否定できない。
委員	認定こども園の園区は中学校区となっているが、今までの説明と食い違うのではないか。
事務局	小学校に繋ぐということは土万・菅野で同じ就学前教育をし小学校に繋ぐほうが良いと思っている。
委員	幼稚園は昼間のみであり、就労の関係から夕方までみてもらいたいため保育園を選択した。保育園を選ぶ時に何所に行けるかではなく、何所であれば入れるかであった。地域の幼稚園で夕方まで子どもを見てもらえるならば、地域の幼

事務局	<p>稚園に通わせたい。今の幼稚園の制度では無理なので空いている保育園を探して入れた。幼稚園と保育園を合わせなくても、幼稚園に夕方までの保育機能をプラスして存続するのも良いと思う。</p>
事務局	<p>考え方は地域の子ども達を、地域の1つの施設で預かりたいということである。地域の子どもを預かって、きちんとした幼児教育・保育をしていきたい。これを目指す1つの手法が認定こども園になると考えている。</p>
委員	<p>それならば土万幼稚園、菅野幼稚園、みのり保育所と一緒に考えなくても良いのではないか。</p>
事務局	<p>菅野と土万の4・5歳児の子どもたちが1つに集まれる施設が必要だと考えている。</p>
委員	<p>それであれば、なぜ公立の認定こども園にしないのか。</p>
事務局	<p>4・5歳児の半分が保育園に通っている。その半分の7割くらいが民間の保育園を利用されている。全部を公立という意見も出るが、そうすると、民間の保育所に撤退してもらうことになってしまう。保護者の理解・納得を得られるきちんとした仕組みをお示しし、これをクリアできる民間に担っていただく。担い手が社会福祉法人であろうが、公立であろうが、同じ教育・保育ができるのであれば、行政とすれば民間が培ってきた幼児教育・保育を退けることはできず、民間にできるのであれば民間にしてもらいたいと考えている。</p>
委員	<p>就学前の子どもの幼児教育・保育を認定こども園ですることになるが、こども園は民間でもできるのか。市としてはどのような考えか。</p>
事務局	<p>社会福祉法人を担い手の中心と考えている。今の考え方の中では公立による認定こども園を提示していく考えはない。</p>
委員	<p>認定こども園を民間で担うことになった場合、施設は土万・菅野地区の0歳から5歳までの児童をあわせると120人くらいになる。運営上は60人程度の規模が適正人数ではないかと思う。保育園を卒園して幼稚園に通う子もいるが、子どもが少なすぎて保育園に戻ってくるケースもある。1つの施設で認定こども園とし、保育園の敷地内での両立は厳しいのではないかと思う。民間での経営・運営は可能だとは思いますが、他の地域から保育園として通所している子と短期保育と長期保育を受けている子と幼稚園の子では保育料も違ってくる。合同で行事するとしても、短期保育、長期保育の子の練習の期間が違ってきたりして、同じ場所で運営するのは難しいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>菅野幼稚園、土万幼稚園、みのり保育園にしても定員があり、菅野、土万の地域の0歳から5歳の子ども128人のすべてを預けてもらうのではなく、保育を必要とする子どもを預けてもらうものであり、128人規模の施設は必要ない。保護者の就労の関係で0歳から預けたいという方もおられるので、3～5歳児の子どもを受け入れることができ、かつ0歳から2歳までの保育に欠ける子どもを受け入れられる60人から80人位の施設規模が必要になるのではないかと思う。認定こども園は基本的には午前中の4時間で幼児教育を行い、午後からは給食を食べて、預かり保育ということになる。共通の教育課程に基づく教育とは午前中に年齢関係なく同じ幼児教育を受ける。例えば運動会の練習も午前中に行い、午後からは自由保育になり、養護の部分が濃くなっていく。どのような形態にしていくかは地域の皆さんと協議していくことになると思う。差が付くということではなく県内の72箇所の認定こども園でも教育・保育が行われて</p>

委員 事務局	<p>いる。</p> <p>保育園入所の子と認定こども園の長期保育の子とは差があるのか。</p> <p>市が考えているのは菅野、土万地域の幼稚園 2 つと社会福祉法人の保育園の 3 つを 1 つの認定こども園にしたいと思っている。認定こども園と社会福祉法人の保育園が残る必要はない。地域の 4・5 歳の子ども達を 1 つの認定こども園で預かりたい。その担い手として社会福祉法人が保護者の納得できる幼児教育保育が提供できるのであれば、その方に担い手になっていただきたい。社会福祉法人に認定こども園を断られた場合、保育所自体の廃止を強要することは市としてはできないが、基本的にはこの地域には 1 つの認定こども園でいいと思っている。</p>
委員 委員	<p>民間を巻き込んでその話をこの場で決定することではないのではないか。</p> <p>学校規模適正化について、菅野と土万を一緒にするために小学校区で進めてきたと思うが、中学校を踏まえた学校規模適正化を考えることが必要ではないか。三土中学校事務組合、宍粟市、佐用町の状況はどうか。</p>
事務局	<p>当会は小学校のことを考えてもらう場である。三土中学については佐用と並行して協議する必要があると思っている。</p>
委員	<p>土万の保護者の方は適正化について賛成が多い。中学校に近い小学校校舎を使用するとなっているが、初めに話をした時は、教育委員会からは場所を変える余地もある、新しい校舎を建てる、などと曖昧の返事だった。これを聞き納得して賛成した保護者もいる。もう 1 度、土万の意見集約し説明をしてもらったほうが良いのではないか。</p>
事務局	<p>委員会も 2 回目で委員だけの意見交換になるので、保護者の方や地域の方への説明会は必要になると思っている。地域の皆さんにも教育委員会の考えている教育・保育の方向性も十分説明しなければいけないと思う。幼保一元化については民間の保育園も交えて提案している。現在、菅野幼稚園が 12 名、土万幼稚園が 5 名の在園で、来年、土万幼稚園では年長 3 名が卒園したら 2 名になる。何人の 3 歳児が入園するかは分からないが 10 名以上になることはない。幼保一元化を市として推進しているが、このままの状態が良いのかということもあり、幼保一元化の議論とは別に菅野幼稚園、土万幼稚園の保護者の方に緊急的に幼稚園だけ一緒にさせていただく提案をする必要があるかもしれないと考えている。</p>
委員	<p>その場を設けてもらえるなら、佐用町の状況も報告してもらいたい。第 3 回目の委員会までに土万だけの意見交換を挟んでももらいたい。土万地区は適正化になった場合、中学校のことも同時進行しないといけない。可能であるなら佐用町の状況を調査して報告していただきたい。</p>
事務局 委員	<p>佐用町の計画推進の状況について報告できる分は報告させていただく。</p> <p>菅野小学校も同じように説明してもらいたい。話だけが進んでいる状態で PTA 理事会もしていないので、保護者も適正化の実施時期について知らない方もいる。就学前の保護者にも説明してほしい。</p>
事務局 委員	<p>菅野小学校区の方にも説明していく予定である。</p> <p>PTA 役員等、理事会は年度交替があるが、このメンバーで委員会を続けていくのか。</p>
事務局	<p>説明会を開催するにあたり、学校規模適正化の進め方として、時期について教</p>

委員	<p>育委員会として平成 26 年 4 月を提案させていただき、2 年後の話になるので年内には保護者の方、地域の方へ説明会をさせていただき、第 3 回、第 4 回の委員会につなげていきたいと思っている。菅野、土万としての意見、方向性を実施の有無も含めて年度内に出していただけないかという思いがある。</p> <p>学校を無くさずに他校区から人数を集めて適正化というのは検討してもらえるのか。</p>
事務局	<p>考えてみるが難しいと思う。</p>
事務局	<p>学校選択制ということか。意見としてはありうる。校区をはずすやり方がないわけではないが、現在、宋栗市はそのような学校選択性は取っていない。地域の特色のある学校づくりがある一方で学校の序列化につながることもある。</p>
委員	<p>規模適正化とあっており、市で割り振りしてもらえたらいいのではないかと。</p>
事務局	<p>集団教育のためにそういう施策を検討し、定住人口ではない子どもを無理に通わせるのは極めて難しい。これは定住が前提の話しになると思う。地域に U.I ターンで子ども達が増えていく施策ならいいとは思う。</p>
委員	<p>それができていないから今の状態になっている。学校を無くさないでほしいという方がいる。しかし、学校を残したからといって地域が活性化するかは別になる。学校を無くさないための案として言っている。</p>
事務局	<p>今、暮らす子ども達の教育を最優先と考えていただき、学校が無くなったとしても地域をどう活性化するかということを考えてほしい。</p>
委員	<p>学校存続の希望が多かったらどうするのか。</p>
事務局	<p>地域の方が学校の適正化を絶対反対されるなら、市としては実施できない。</p>
委員	<p>しかし、PTA からすれば適正化は絶対してほしい。</p>
事務局	<p>地域の方と話し合いをする中で、地域の子どものことを考え適正化を理解いただき、その後に地域と行政が一緒になって学校の跡地をどう活用し活性化していこうか考えていかなければいけない。そうしなければ学校規模適正化は進まない。</p>
委員	<p>説明を受け土万、菅野地区は A ランクになる。2 年後となると地域の方に早く説明していただきたい。</p>
事務局	<p>保護者の方、地域の方に説明会をするということで進めさせていただきたい。まず、保護者については PTA 会長と日程調整をさせていただきたいと思う。自治会についても自治会長と日程調整させていただき開催させていただく。就学前の保護者の方は個別に連絡し、幼稚園、小学校、保育園に通っている子どもがいる保護者の方には学校を通じて配布します。</p>
事務局	<p>委員会としての方向性を決定する期間を委員の方の任期の平成 25 年 3 月頃までに依頼したい。</p>
委員	<p>地区の説明会でその旨も説明してほしい。</p>
委員	<p>一定の方向性は場所と目標、実施時期ということですか。</p>
事務局	<p>委員会での方向性を決める期限を平成 25 年 3 月目途でお願いしたい。</p> <p>(閉会)</p>
委員	<p>保護者に十分な説明をしていただき、あわせて地域の方にも説明していただき、その後、第 3 回目の委員会を開催することになると思う。来年の 1 月頃になると思うのでよろしく願います。</p>